

1面のコラム「^{しゃめん}斜面」を読もう

斜面

2024.5.4

先日の朝に信号待ちをしていると、子供の涙声が入ってきた。渡れば小学校が間近にある橋の上。ただならぬ様子に駆け寄ると、真新しいランドセルを背負った1年生が欄干にしがみついて動こうとしない。

口を固く結んだままだ◆隣の上級生に聞くと、学校に行きたくないのだという。毎朝一緒だけどころなことは初めてだ、とも。入学して1カ月。新しい環境に食らいついてきたが、糸が切れてしまったか。「みんな優しいから大丈夫」と上級生に手を取られ、1年生は歩き出す◆その姿に約30年前の筆者の新人時代を重ねてしまった。取材先を回ったが夜になっても記事の材料が集まらず、このまま会社には戻れない。行き場を失い、途方に暮れて星空を見上げた。この季節だった。緊張感で保ってきた心が折れかけた時、年の近い先輩記者が慰めてくれた◆春から全力疾走してきた足がふと止まる頃だ。進学や就職、転勤による慣れない環境で緊張や疲れが重なり、大型連休明けに心身の不調を感じる。正式な病名ではないが「五月病」と言われ、会社員らの半数超が経験したことがあるとの調査結果もある◆別の調査では、仕事のストレスについて他人に相談したところ、解消したり気が楽になったりしたとの回答は9割超。誰かに悩みを話せば、連休明けは一息つけるかもしれない。あの1年生も大きくなって橋でうずくまる新入生を見た時には、わが身のように寄り添ってくれたらうれしい。

斜面

2024.5.17

小学校の社会科の授業で、サツマイモを育てたことがある。江戸時代の飢饉を学ぶ中で、蘭学者の青木昆陽が広

めたサツマイモの栽培方法を試そうと、校庭の隅で始めた。秋に大きな芋が採れ、「これはすごい」と子ども心に感心した◆種芋をいくつかに切り分けて発芽させ、伸びて葉を付けたつるを切り取り土に挿す。それが根を生やして成長し、一面は青々とした葉でみるみる埋まった。育て方をつかめば、痩せた土地でも飢えの心配はいらなくなる、妙に納得したことを思い出す◆こうした芋類など手間をかけずに収穫できる「食べられる植物」を身近に増やそうと、生態学者の鷺谷いづみさんが、先月の本紙「今日の視角」で提案していた。食料の多くを海外に頼る日本は、極端な気象がもたらす物価上昇「気候インフレ」に弱く、備えが必要だと強調する◆気候インフレの兆候は始めている。主産地の干ばつや天候不順などで生産量が激減したオリブやカカオ豆だ。それらを原材料とするオリブオイルやチョコレートの高騰が著しい。扱う県内の料理店や洋菓子店では死活問題になっているという◆米や豆類の産地として知られるブラジル南部では今、豪雨による大規模洪水が発生。国際的な穀物価格の上昇につながる恐れが出ている。地球温暖化が止まらず気象災害が各地で頻発し、食料の供給が年々危機に追い込まれているように思う。鷺谷さんの提案を真剣に考える時ではないか。

しゃめん
1面のコラム「**斜面**」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2024. 5. 4

せんじつのあきにしんごうまちをしっている、こども
のなみだごえがみにはいつてきた。わたれ
ばしようがっこうがまちか
にあるはしのうえ。ただな
らぬようすにかけよると、
まあたらしいランドセルを
せおった1ねんせいがん
かんにしがみついてうごこ
うとしない。くちをかたく
おすんだままだ◆となりの
じょうきゆうせいにきくと、
がっこうにいきたくないの
だという。まいあさいっしょ
だけどころなことははじめ
でだ、とも。にゆうがくし
て1カげつ。あたらしいか
んきょうにくらいついてき
たが、いとがきれてしまっ
たか。「**みんな**やさしいか
らだいじょうぶ」とじょう
きゆうせいにてをとられ、
1ねんせいはあるきだす◆
そのすがたにやく30ねんま
えのひっしやのしんじんじ
だいをかさねてしまった。
しゅぎいさきをまわったが
よるになつてもきじのさい
りようがあつまらず、この
ままかいしゃにはもどれな
い。いきばをうしない、と
ほうにくれてほしぞらをみ

あげた。このきせつだった。
きんちょうかんでたもつて
きたところがおれかけたど
き、としのちかいせんぱい
きしゃがなぐさめてくれた
◆はるからぜんりよくしつ
そうしてきたあしがふとと
まるころだ。しんがくやしゅ
うしょく、てんきんによる
なれないかんきょうできん
ちようやつかれがかさなり、
おおがたれんきゆうあけに
しんしんのふちようをか
じる。せいしきなびようめ
いではないが「五月病」と
いわれ、かいしゃいんら
はんすうちょうがけいけん
した**こと**があるとのちよう
さけつかもある◆べつのちよ
うさでは、しごとのストレ
スについてたにんにそうだ
んしたところ、かいしゅう
したりきがらくになったり
したとのかいとうは9わり
ちよう。だれかになやみを
はなせば、れんきゆうあけ
はひといき**つける**かもしれ
ない。あの1ねんせいもお
おきくなつてはしでうづく
まるしんにゆうせいをみた
ときには、**わがみ**のよう
よりそつてくれたら**うれし**
い。

太字や固有名詞などの漢字は原文のままです。

コラム「^{しゃめん}斜面」を読んで考えを深めよう

年 組 名前

斜面

2024.5.17

小学校の社会科の授業で、サツマイモを育てたことがある。江戸時代の飢饉^{きん}を学ぶ中で、蘭学者の青木昆陽が広

めたサツマイモの栽培方法を試そうと、校庭の隅で始めた。秋に大きな芋が採れ、「これはすごい」と子ども心に感心した◆種芋をいくつかに切り分けて発芽させ、伸びて葉を付けたつるを切り取り土に挿す。それが根を生やして成長し、一画は青々とした葉でみるみる埋まった。育て方をつかめば、痩せた土地でも飢えの心配はいらなくなる、妙に納得したことを思い出す◆こうした芋類など手間をかけずに収穫できる「食べられる植物」を身近に増やそうと、生態学者の鷺谷いづみさんが、先月の本紙「今日の視角」で提案していた。食料の多くを海外に頼る日本は、極端な気象がもたらす物価上昇「気候インフレ」に弱く、備えが必要だと強調する◆気候インフレの兆候は始めている。主産地の干ばつや天候不順などで生産量が激減したオリブやカカオ豆だ。それらを原材料とするオリブオイルやチョコレートの高騰が著しい。扱う県内の料理店や洋菓子店では死活問題になっている◆米や豆類の産地として知られるブラジル南部では今、豪雨による大規模洪水が発生。国際的な穀物価格の上昇につながる恐れが出ている。地球温暖化が止まらず気象災害が各地で頻発し、食料の供給が年々危機に追い込まれているように思う。鷺谷さんの提案を真剣に考える時ではないか。

① コラム「斜面」の筆者が思い出した「妙^{みょう}に納得^{なっとく}したこと」とは、何ですか。

② 筆者が「真剣^{しんけん}に考える時ではないか」とする鷺谷^{わしたに}いづみさんの提案^{ていあん}とは、何ですか。

③ コラム「斜面」を読んで、あなたはどうか考えますか。200字程度で書きましょう。

Grid for writing answers to questions 1, 2, and 3.

コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

斜面

2024.5.17

小学校の社会科の授業で、サツマイモを育てたことがある。江戸時代の飢饉を学ぶ中で、蘭学者の青木昆陽が広

めたサツマイモの栽培方法を試そうと、校庭の隅で始めた。秋に大きな芋が採れ、「これはすごい」と子ども心に感心した◆種芋をいくつかに切り分けて発芽させ、伸びて葉を付けたつるを切り取り土に挿す。それが根を生やして成長し、一画は青々とした葉でみるみる埋まった。育て方をつかめば、痩せた土地でも飢えの心配はいらなくなる、妙に納得したことを思い出す◆こうした芋類など手間をかけずに収穫できる「食べられる植物」を身近に増やそうと、生態学者の鷺谷いづみさんが、先月の本紙「今日の視角」で提案していた。食料の多くを海外に頼る日本は、極端な気象がもたらす物価上昇「気候インフレ」に弱く、備えが必要だと強調する◆気候インフレの兆候は始めている。主産地の干ばつや天候不順などで生産量が激減したオリブやカカオ豆だ。それらを原材料とするオリブオイルやチョコレートの高騰が著しい。扱う県内の料理店や洋菓子店では死活問題になっている◆米や豆類の産地として知られるブラジル南部では今、豪雨による大規模洪水が発生。国際的な穀物価格の上昇につながる恐れが出ている。地球温暖化が止まらず気象災害が各地で頻発し、食料の供給が年々危機に追い込まれているように思う。鷺谷さんの提案を真剣に考える時ではないか。

① コラム「斜面」を読んで、筆者が言いたいことを簡潔に書きましよう。

② 【意見提示】 「斜面」の内容に対するあなたの意見を書きましよう。

③ 【展開】 あなたの意見の根拠を三つ書きましよう。

Three large dashed boxes for student responses.

() () ()

伝えたい順番

コラム「^{しゃめん}斜面」を読んで考えを深めよう

解答例

年 組 名前

斜面

2024.5.17

小学校の社会科の授業で、サツマイモを育てたことがある。江戸時代の飢饉を学ぶ中で、蘭学者の青木昆陽が広

めたサツマイモの栽培方法を試そうと、校庭の隅で始めた。秋に大きな芋が採れ、「これはすごい」と子ども心に感心した◆種芋をいくつかに切り分けて発芽させ、伸びて葉を付けたつるを切り取り土に挿す。それが根を生やして成長し、一画は青々とした葉でみるみる埋まった。育て方をつかめば、痩せた土地でも飢えの心配はいらなくなる、妙に納得したことを思い出す◆こうした芋類など手間をかけずに収穫できる「食べられる植物」を身近に増やそうと、生態学者の鷺谷いづみさんが、先月の本紙「今日の視角」で提案していた。食料の多くを海外に頼る日本は、極端な気象がもたらす物価上昇「気候インフレ」に弱く、備えが必要だと強調する◆気候インフレの兆候は始めている。主産地の干ばつや天候不順などで生産量が激減したオリブやカカオ豆だ。それらを原材料とするオリブオイルやチョコレートの高騰が著しい。扱う県内の料理店や洋菓子店では死活問題になっている◆米や豆類の産地として知られるブラジル南部では今、豪雨による大規模洪水が発生。国際的な穀物価格の上昇につながる恐れが出ている。地球温暖化が止まらず気象災害が各地で頻発し、食料の供給が年々危機に追い込まれているように思う。鷺谷さんの提案を真剣に考える時ではないか。

① コラム「斜面」の筆者が思い出した「妙に納得したこと」とは、何ですか。

【解答】（サツマイモの）育て方をつかめば、痩せた土地でも飢えの心配はいらなくなる

② 筆者が「真剣に考える時ではないか」とする鷺谷いづみさんの提案とは、何ですか。

【解答】「食べられる植物」を身近に増やそう

③ コラム「斜面」を読んで、あなたはどうか考えますか。200字程度で書きましょう。

Grid for writing answers to question 3.